

第11回 石油に関する講演会 & 野外見学会

期 日 : 2009年6月6日(土)

会 場 : 石油の里 & 新津美術館



野外見学会(9:00 ~ 11:30、集合 9:00 古代館 秋葉区金津、石油の里公園)

見学場所 ロマンの遊歩道(ポンピングパワーを中心に) 案内 石油の世界館友の会スタッフ

遊歩道沿いには、石油採掘に使われた文化遺産(石油やぐら、ポンピングパワー、継転機など)がのこっています。

今回の見学会では、小さな力で大きな仕事をする機械の仕組みに、先人たちの石油をくみ出す知恵を学びたいと思います。

遊歩道沿いには、豊かな自然も広がっています。

新緑の香りを楽しみながら探さくしてみませんか!

服装

動きやすい服装、
帽子、運動靴

準備

飲み物、雨具、
筆記用具など

集合: 古代館



講演会(13:30 ~ 15:30 新津美術館)

講演 「中東の石油開発小史と社会的背景」

講師 樋口 雄 元地球科学総合研究所

世界のエネルギーの大半をまかなう石油の源泉地中東。巨大油田発見に向けての技術の進歩と探鉱の進展の裏には、この地中の宝をめぐる列強各国がからみ合う壮絶なドラマがあります。一方日本にとっては、長い間“月の砂漠”に歌われるような縁遠い“おとぎの国”でしたが、今では消費する石油の90%を依存する生命線となっています。各国の資源争奪の血なまぐさい歴史をふりかえり、これからの中東への向き合い方を考えてみたいと思います。

講演 「新津油田の石油はいつできたのか」

講師 平井明夫 国際石油開発帝石(株) 技術本部 技術推進ユニット コーディネーター

石油は太古の時代に生きていた生物が地層の中に埋もれ、数千万年の長い年月をかけて変化してできたものだと言われています。ところが、日本やインドネシアで産出する石油はとても新しい石油で、数十万年前に出来始めたことが、精密な化学分析とコンピュータ・シミュレーションで解明されました。新津油田の地下深部では今でも石油が つくられています。

定 員 : 野外見学会 40名、講演会は60名 参加費 : 200円(当日受付で)

申 込 み : 住所・氏名・電話番号を「新潟市秋葉区役所 地域課 文化・スポーツ係」へ
電話 0250-25-5671 FAX 0250-22-0228 メール chiiki.a@city.niigata.lg.jp

申込締切 : 6月2日(火)17:30まで(電話申込は土・日・祝日を除く8:30-17:30とさせていただきます)